

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	興和株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市中区錦三丁目6番29号
工場等の名称	興和株式会社 名古屋工場
工場等の所在地	愛知県名古屋市北区鳩岡二丁目18-57
業種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医薬品製造
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

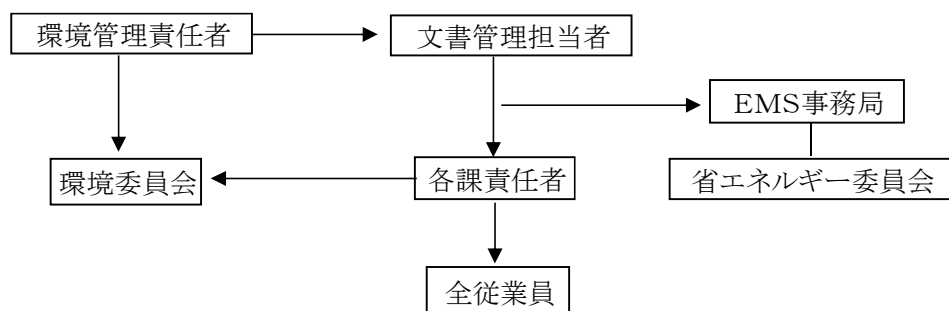
公表期間	令和6年7月22日 ～ 令和6年10月20日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 興和株式会社 名古屋工場 施設課（労務課受付）
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-981-8541		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1：全従業員参加による環境マネジメントシステムを構築し、その継続的改善と事業活動による環境汚染の予防に努めます。
- 2：環境に関連する法規制及び名古屋工場が同意するその他の要求事項を遵守し、地域社会との共生を図ります。
- 3：環境方針達成のため、以下の項目を含んだ環境目的・目標を設定し実施することにより、環境に与える影響の改善を推進します。
また、これらの環境目的・目標は、定期的な見直しを行い必要に応じて改訂します。
 - ① 環境汚染を防ぐため、化学物質の適正な管理と環境予防に努める。
 - ② 地球温暖化防止のため、省エネルギー活動を推進する。
 - ③ 資源の有効活用のため、廃棄物を管理しその削減と再資源化を推進する。
- 4：環境方針は、電子媒体による公開、パンフレットの配布あるいは社内掲示等を行い、全従業員に周知を図ります。
- 5：環境方針は、要求に応じて一般の人にも開示します。による環境汚染の予防に努めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4, 482	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換排 算）出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	4, 482	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
削減率（対 基準年度）				%		%		%	
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	
削減率（対 基準年度）						%		%	

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量	11. 22	t-CO ₂ / t	10. 88	t-CO ₂ / t	11. 57	t-CO ₂ / t	9. 865	t-CO ₂ / t	
削減率（対 基準年度）			3. 0	%	▲ 3. 1	%	12. 1	%	
原単位あたりの みなし排出量						t-CO ₂ / t		t-CO ₂ / t	
削減率（対 基準年度）						%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

本年度は生産量の増加も重なり大幅な削減につながった。又、根本的な省エネ対策として2023年1月にH工場の空調用冷凍機を吸収式からモジュールチラーへ更新が完了した。これにより原油換算で年間200kL近い省エネ効果を見込んでる。目標達成に向けて順調に進んでいる。

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3, 000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3, 000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進：冷暖房設備運転の効率化	・空調用冷凍機を高効率のタイプに更新する。 ・空調機の最適運転を継続する。	・空調用冷凍機の更新 ・最適運転の実施	・H工場空調用冷熱源機をモジュールチラーに更新した ・継続して実施中
省エネルギー・省資源の推進：圧縮空気設備運転の効率化	・圧縮空気不要時には装置を停止する。 ・配管からの漏れの軽減に努める。	・不要時装置停止の徹底 ・エアリーク調査の実施	・継続して実施中 ・継続して実施中
省エネルギー・省資源の推進：OA機器	・離席時、パソコンはスリープ機能を活用する。 ・コピー機などの機器は使用時以外、節電モードにする。	・スリープ機能活用の徹底 ・使用時以外は節電モードの徹底	・継続して実施中 ・継続して実施中
省エネルギー・省資源の推進：照明	・LED照明を検討していく。 ・不要時の消灯を徹底する。	・LED照明の推進 ・不要時消灯の徹底	・通常照明の計画分がすべて完了した為、次に誘導灯のLED化を検討中 ・継続して実施中
省エネルギー・省資源の推進：ボイラー	・定期点検等で燃焼状態をチェックし省エネと機器最適運転を考慮した空気比に調整する。	・空気比の調整	・継続して実施中

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
平成23年度	太陽光発電設備	最大出力10kW（令和5年度発電量：1.23万kW）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・廃棄物量の削減	：継続して実施中
・両面コピー、裏紙利用等による紙利用の量の削減。	：継続して実施中
・従業員への定期的な環境教育の実施。	：継続して実施中

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・定時退社に努める。：実施した。
